

ANAN High School

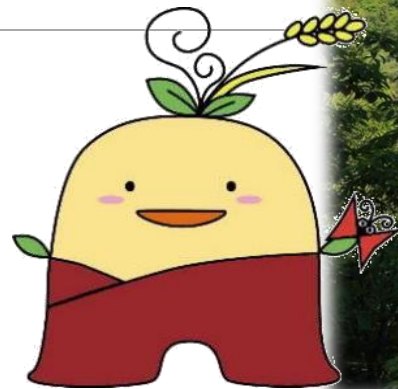


学校紹介

(1) 概要

(2) スクールミッション
グランドデザイン

(2) 3つの特長 他



永えに地域のシンボルたれ

阿南高校の紹介

★ 開校 昭和25年（1950年） **創立76年目**

戦後、教育の機会均等が叫ばれる中、
下伊那南部地区の教育振興という目的のもと、
地元の熱烈な要望により誕生

★ 卒業生数累計 10,963名 (R7. 3. 31現在)

多くの卒業生が地元や国の内外で活躍

★ **現在 1 学年 2 クラス規模の普通科**

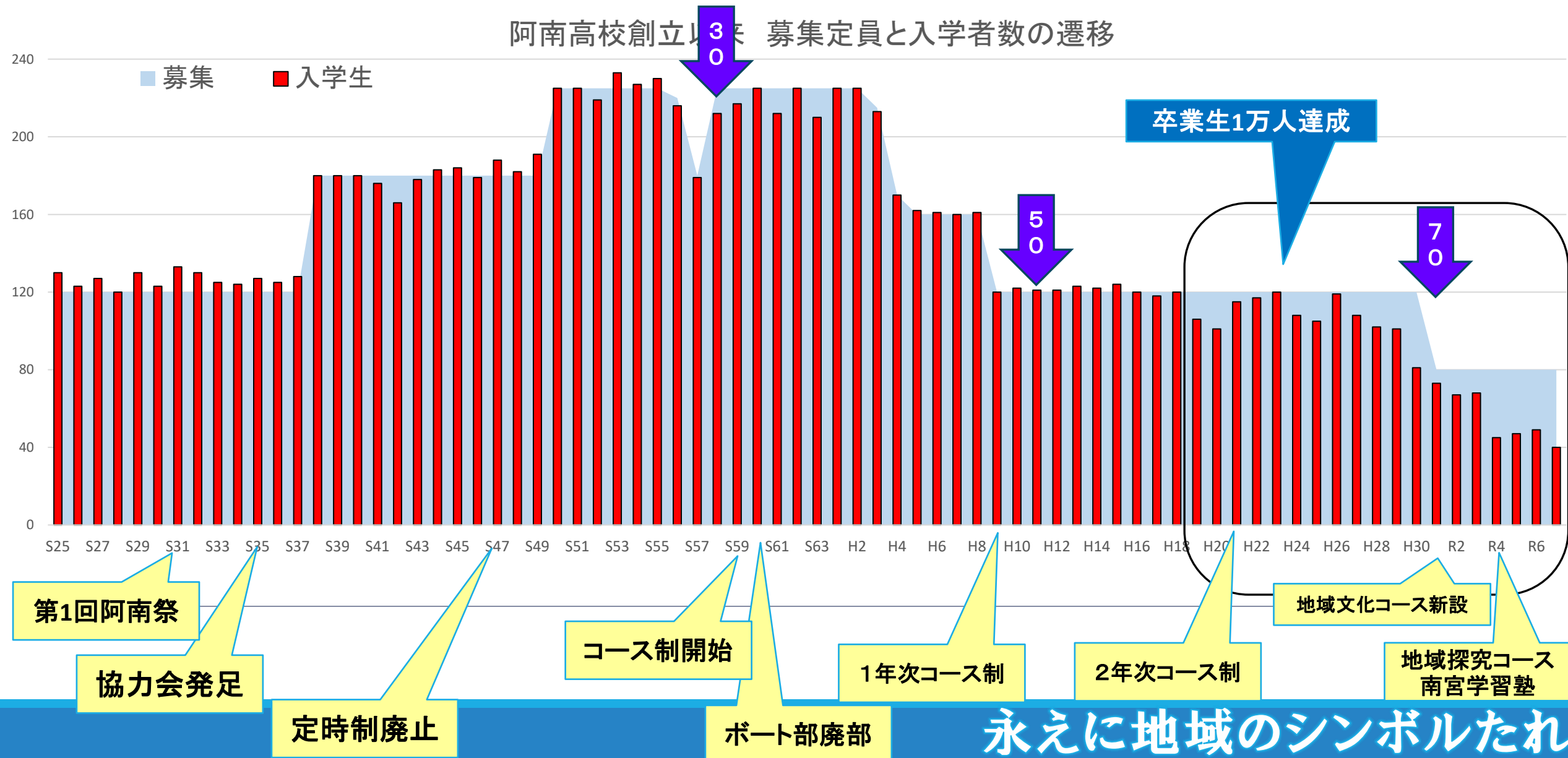
生徒数 122名（男女比は2：1）



永えに地域のシンボルたれ

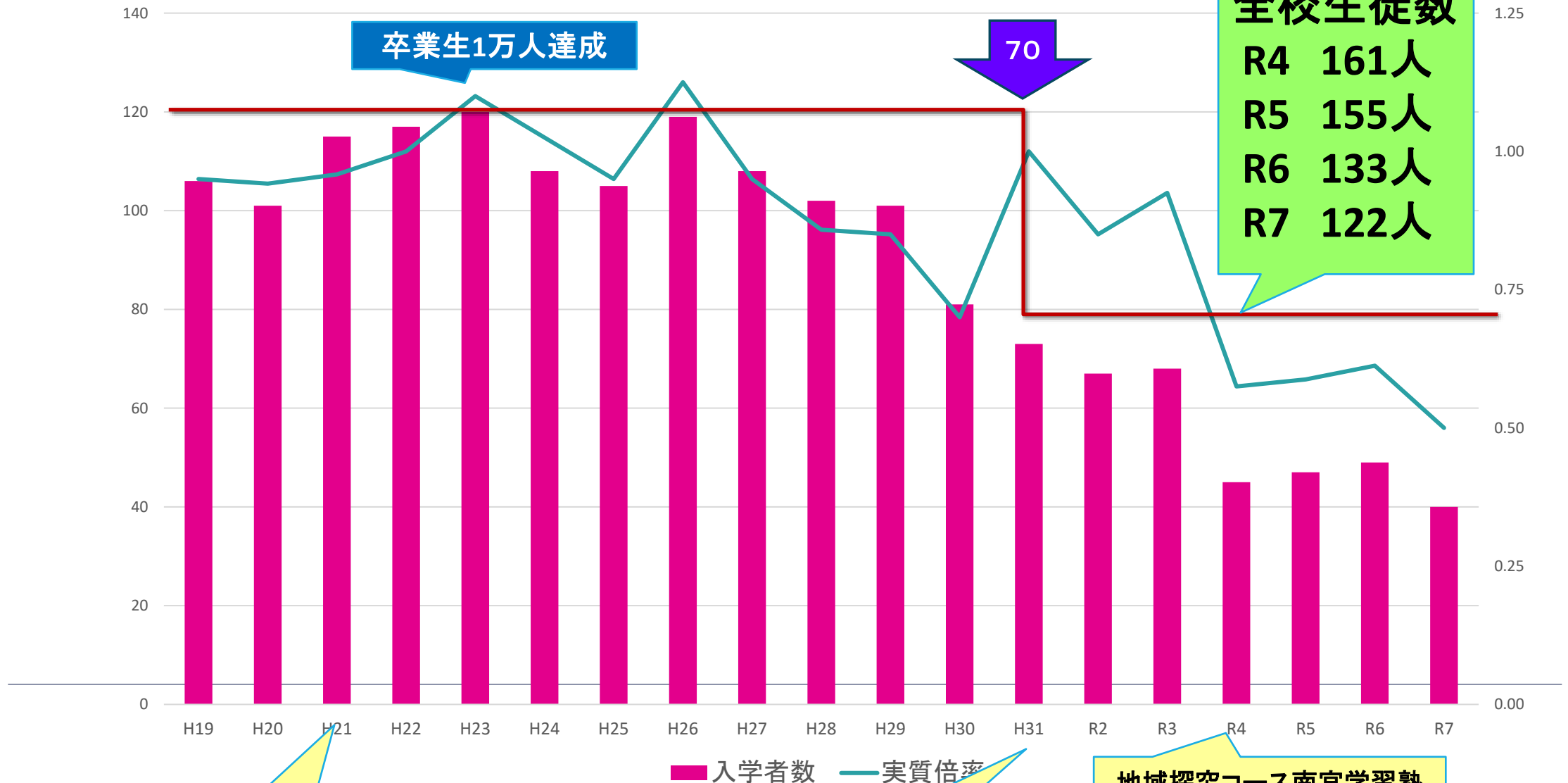
阿南高校創立以来 募集定員と入学者数の遷移

阿南高校創立以来 募集定員と入学者数の遷移



H19～R7年度入学者数と実質倍率

H19～R7年度入学者数と実質倍率



2年次コース制

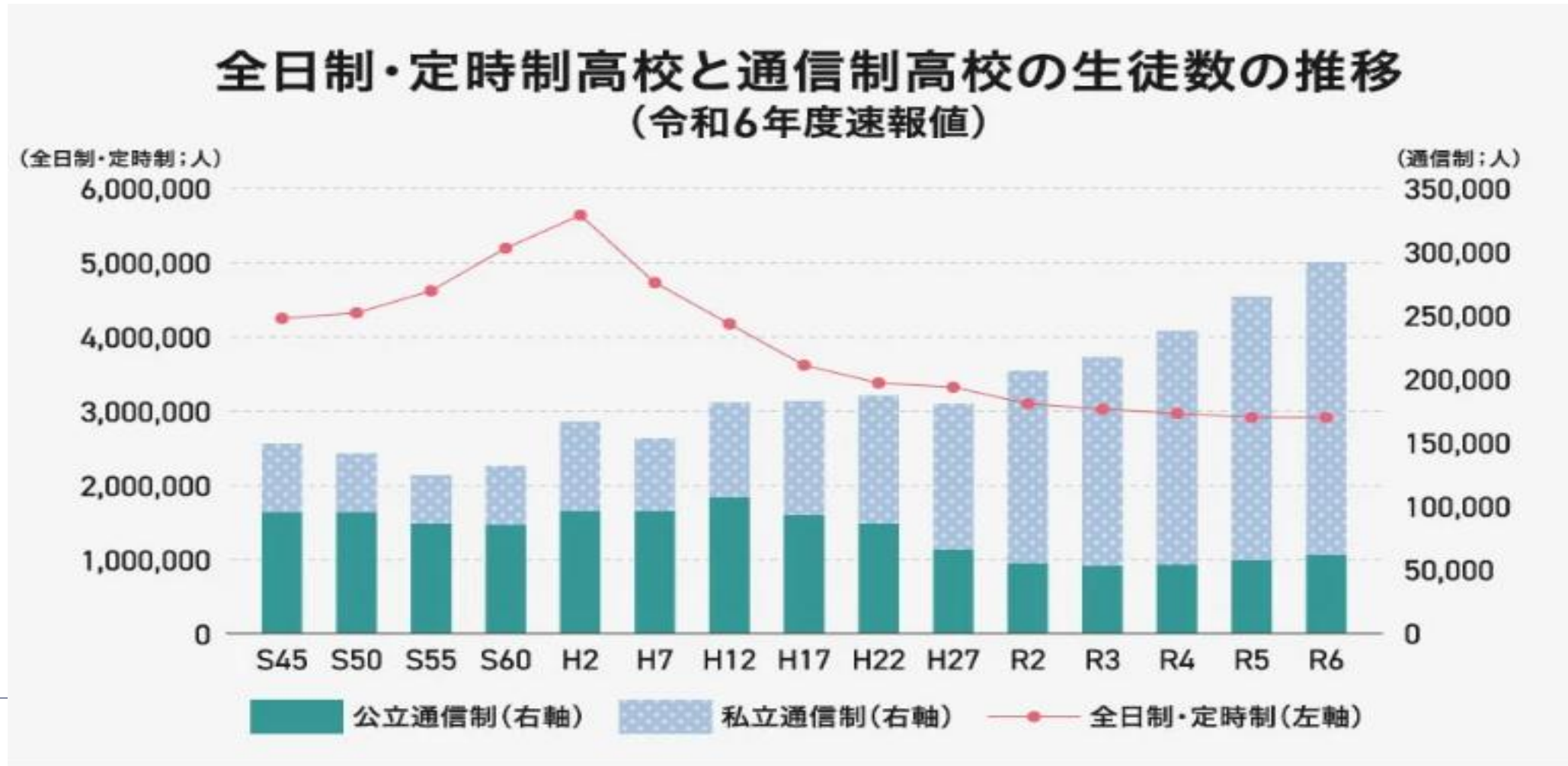
地域文化コース新設

地域探究コース南宮学習塾

永えに地域のシンボルたれ

(参考) 全日制・定時制と通信制の生徒数推移 R6年度速報値

日本財団ジャーナルHPより<https://www.nippon-foundation.or.jp/>



「通信制高校」に通う生徒数は、年々増加傾向にある。データ出典(速報値)：文部科学省「学校基本調査—令和6年度 結果の概要—」(外部リンク)

永えに地域のシンボルたれ

(参考) 再編に関する基準等について

現行基準(現在留保中)

再検討原案(今月末公表か)

3「中山間地存立校」の基準について

- 募集定員120人以上が望ましい。
 - 在籍生徒数が160人以上かつ卒業生の半数以上が当該高校へ入学している中学校がない状態が2年連続した場合に、再編対象とする。
 - 他校との統合(新たな高校をつくる)。
 - 地域キャンパス化(分校化)。
 - 中山間地存立特定校の指定。
 - 募集停止の検討の方策をとる。
- ・募集定員120人以上**
・全校160人以下が連続2年→再編対象

3「中山間地存立校」の基準について

- 募集定員80人以上とする。
 - 在籍生徒数が160人以上かつ卒業生の半数以上が当該高校へ入学している中学校がない状態が2年連続した場合には、再編対象として、①他校との統合(新たな高校をつくる)。
 - 地域キャンパス化(分校化)。
 - 中山間地存立特定校の指定。
 - 募集停止の検討の方策をとる。
- ・募集定員80人以上**
・全校160人以下が2年続く→再編対象

4「中山間地存立特定校」の基準について

- 地域との協働を「中山間地存立校」を適用した学校よりもさらに強化することにより、募集定員40人でも単独で高校を存続させる道を探る。
 - 在籍生徒数が160人以上かつ卒業生の半数以上が当該高校へ入学している中学校がない状態が2年連続した場合であっても、その例外として「中山間地存立特定校」としての指定を検討する。
 - 原則として、地域との協働が実現し、存続の道を探る。
 - 教育機会確保法が、高校の存続に必要性が高いと判断できる。
 - (ウ) 所在する市町村等、地域からの支援を得ながら、高校を単独で存続する体制を整備できる。
- ・募集定員40人 存続を探る**
・特定校指定を検討する

3-(1)「中山間地存立特定校」指定の基準について

- 募集定員40人でも単独で高校を存続させる道を残す。
 - 県境に近い地域にある高校は原則指定し、存続の道を残す。
 - 県境に近い地域にない高校は、地域が具体的な支援や存続する体制を整備する場合において、個別に指定を検討する。
- ・募集定員40人 存続の道を残す**
・県境の高校は原則指定

5「地域キャンパス」及び「中山間地存立特定校」がより小規模になった場合について

- 在籍生徒数が60人以下の状態が2年連続した場合には、募集停止を検討する。
 - ただし、卒業生の半数以上が当該高校へ入学している中学校がある場合や、将来、入学者の増加が予測される場合は慎重に扱う。
 - なお、在籍生徒数は、地域キャンパス化、特定校指定から3年経過した時点以降の生徒数とする。
- ・全校60人以下が連続2年→停止検討**
(キャンパス化、特定校指定から3年経過後)

3-(2)「地域キャンパス」及び「中山間地存立特定校」がより小規模になった場合の基準について

- 在籍生徒数が60人以下の状態が2年連続した場合には、募集停止を検討する。ただし、卒業生の半数以上が当該高校へ入学している中学校がある場合や、将来、入学者の増加が予測される場合は慎重に扱う。
- なお、在籍生徒数は、地域キャンパス化から3年が経過、もしくは「中山間地存立特定校」の指定から3年が経過した時点以降の生徒数とする。

変わらず

特定校指定の基準 → 地域との協働(具体的な支援)
また、ICTを活用した遠隔授業を積極的に行う

3 「中山間地存立校」の基準について

○募集定員の表記 ⇒「120人以上が望ましい」を「80人以上とする」に変更

令和6年度、中山間地存立校22校中15校が80人募集であることから、実態に即した数値に変更

○基準及び該当した場合の選択肢 ⇒現行通りとし変更しない

現在進行中の再編・整備計画【一次】【二次】【三次】との整合性を図るため

4 「中山間地存立特定校」の基準について

○表題の変更 ⇒3-(1)として「指定」を追加し、3の基準に該当した場合の選択肢のうち③を指定するための基準であることを明記

○表記の変更

「中山間地存立特定校」の定義を改めて整理

○条件(イ)を削除

すべての中山間地存立校が(イ)の条件に該当すると判断できるため削除

○条件を示す表記を変更

- ・県境に近い地域にある高校(表1)は、原則指定し地域と協働しながら存続させていくことを明記
- ・県境に近い地域にない高校については、地域の関り方について改めて整理し、一校一校個別に検討していくことを明記

5 「地域キャンパス」及び「中山間地存立特定校」がより小規模になった場合について

○表題の変更 ⇒3-(2)として「の基準」を追加し、3の基準に該当した場合の選択肢のうち②③における基準であることを改めて明記

参考

再編に関する基準等の再 検討について生徒の意見聴取

阿南高校(中山間地存立校)

令和7年3月 24 日(月)13:30～

生徒会役員9名

- ・交通手段がなく、都市部校に通うのが難しい生徒のことを考えて中山間地存立校の基準を下げてほしい。
基準を緩めてもらいたい。
- ・再編基準はなくていいと思った。特に中山間地存立校は統合となくていいと思った。
- ・中山間地には高校を残してほしい。地域から高校がなくなることはあってはならない
→通えるところがなくなる、通信制に行くしかなくなる、高校に行かなくなる、
小規模校の良さがなくなる
- ・中山間地にある高校が無くなってしまうと、住んでいる子どもたちが都市部へ行かなければならないため、
地域キャンパスや特定校をしっかりと検討してほしい。
- ・人数は減っているが、合併せずにクラス数が1クラスになるまで残してほしい。
- ・各学校の特色をしっかりと見てほしい。
- ・生徒目線の考えというものを引き続き取り入れてほしい。
- ・地域の方の意見も聞き入れるべき。
- ・人数が少ないところは少ないなりに良さがたくさんあるし、統合すれば高校の選択肢が減ってしまうから中
学生が悩んでしまう。
- ・通信制などには人数制限が特にないイメージだが、一つの学習手段として規定を設けてもらわなければ、
これから先なくなる高校は増える。
- ・学力に応じた高校配置にしてほしい(下伊那地域に普通高校の選択肢が少ない)。
- ・県の人もしっかり生徒のことを考えてくれていて嬉しかった。

永えに地域のシンボルたれ



スクールミッション グランドデザイン

「永えに地域のシンボルたれ」の理念のもと、下伊那南部5町村を中心とした地元地域と学校が協働し、探究学習等の教育活動を通して一人ひとりの能力や個性・可能性の伸長を図り、地元の文化・自然を愛しみながら地域への課題意識を持った、未来の地域を支える人材を育成します。



永えに地域のシンボルたれ

阿南高校の「3つの特徴」



① 個に寄り添った **少人数教育**
キャリアデザイン



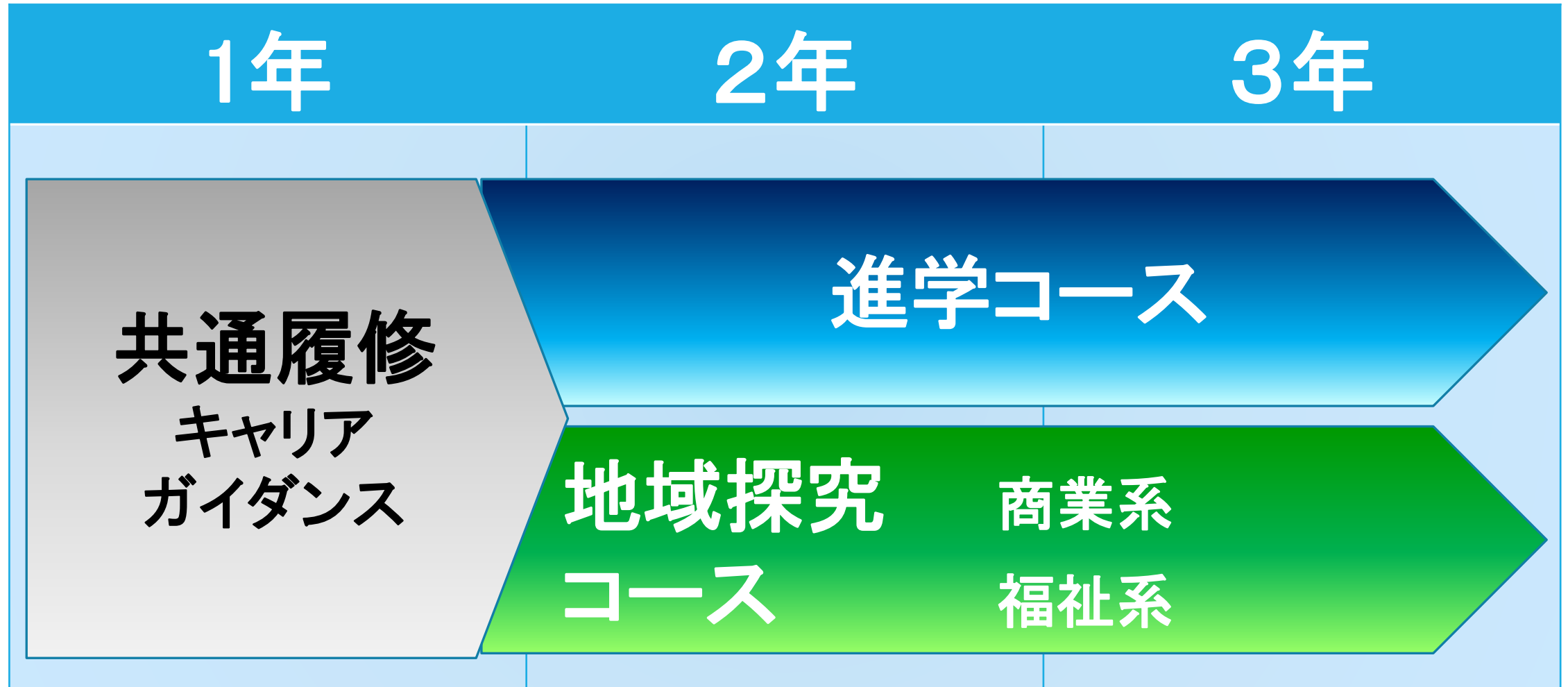
② 個性の伸長
2コース制
進学・地域探究
(情報ビジネス系・福祉系)



③ **地域**の
自然・文化・人に
学ぶ

永えに地域のシンボルたれ

② 個性の伸長 ～2コース制～



② バランス感覚に富んだ豊かな感性を育む 進学コース

進路目標

- ・大学・短大
- ・看護医療系
専門学校

R6年度合格校一覧

大学8〔国立1, 私立7〕

短大7〔公立1, 私立6〕

専門15〔公立1, 私立14〕

R6年度卒業生

就職15〔公務員3, 民間12〕



永えに地域のシンボルたれ

②地域に学び、課題を考え、地域に貢献できる生徒を育てる

地域探究コース

共通科目 「地域探究」

・商業系

全経電卓計算能力検定

全商情報処理検定

全商ワープロ実務検定

日商・全商簿記実務検定

全商電卓実務検定 等

・福祉系

介護職員初任者研修



「南宮 学習塾」

が始まります

電車やバスを待つ

すき間時間にちょっと勉強

英語：五月女・ニーザー アレクサンダー

（通称 アレックス）先生

数学：伊藤麻紗実 先生

国語：南嶋 順 先生

5月27日(金)開講

教科：国語 数学 英語

場所：北条会館（高校から徒歩5分）

月謝：英語・数学 月額1,000円

国語 500円

（初回1か月無料キャンペーン実施中）

申込：阿南高等学校 教務室

電話 0260-22-2052



公設塾『南宮学習塾』



阿南高校協力会
(阿南町、下條村、売木村、
天龍村、泰阜村)からの
資金援助によって設立



永えに地域のシンボルたれ

③ 地域の自然・文化・人に学ぶ



永えに地域のシンボルたれ

授業公開Ⅰ
11/1(土)
午前を予定
※詳細は後日

授業公開Ⅱ
12/9(月)
10(火)
午後5,6時限を予定
13:30-15:20



**探究学習成果
発表会**
1/28(水)
阿南町文化会館にて
※詳細は後日

永えに地域のシンボルたれ